

コード No. 18885

**Anti-Mouse
Claudin-8 (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : Claudin は遺伝子ファミリーを形成する 4 回膜貫通型蛋白質で、細胞膜内で重合しながら細胞間接着能を持つことにより、細胞膜を密着させてタイトジャンクションを形成します。また、同種類間でも異なる種類の Claudin 間でも会合します。その構造は、N 末端と C 末端を細胞内に向け細胞外に 2 つのループを持つような形で膜に組み込まれています。

基本構造はファミリー間で共通しており、C 末端部分は膜裏打ち蛋白質 ZO-1、ZO-2、ZO-3 の PDZ ドメインと結合し、その分子量は 22-23kDa です。

免疫抗原 : Mouse Claudin-8 の C 末端部分合成ペプチド
(SFHAEKRSPSIYSKSYQY)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 μ g/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 $^{\circ}$ C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 $^{\circ}$ C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫細胞組織染色 5 μ g/mL にて使用可能 (凍結切片)
: ウェスタン ブロットティング 5 μ g/mL にて使用可能

特異性 : Claudin-8 に特異的。Claudin-1, -2, -3, -4, -5, -6, -7, -12, -15 とは反応しません。(Transfectant を用いたウェスタンブロットティングにて確認)